

## 平成29年度 第2回 宇都宮市総合教育会議 議事録【概要版】

- 1 **日時** 平成29年9月22日（金） 午前9時～午前10時
- 2 **場所** 宇都宮市役所13階 教育委員室
- 3 **出席者**  
(構成員) 佐藤市長，  
水越教育長，大場教育委員，伊藤教育委員，山田教育委員，清島教育委員  
(関係者) 手塚副市長，吉田副市長，  
(事務局) 水沼教育次長，小堀学校教育担当次長，梓澤教育企画課長，  
富山総務担当主幹，猪瀬学校管理課長，栗原学校教育課長，  
荒木学校健康課長，増渕学習課長，松本文化課長，  
阿部スポーツ振興課長，田中教育センター所長  
大出教育企画課長補佐，本田教育企画課企画G係長，  
関教育企画課総括主査

4 **傍聴者** 1名

### 5 議題

(1) 人間力向上について

### 6 議事の内容

#### 1 開会

水沼教育次長 定刻になりましたので、ただいまから、平成29年度第1回宇都宮市総合教育会議を開会いたします。本日の会議の進行を務めさせていただきます。教育次長の水沼でございます。よろしくお願いいたします。

#### 2 あいさつ

水沼教育次長 はじめに、佐藤市長からごあいさつをお願いいたします。

佐藤市長 佐藤市長あいさつ

水沼教育次長 ありがとうございます。  
続きまして、水越教育長からごあいさつをお願いいたします。

水越教育長 水越教育長あいさつ

水沼教育次長 ありがとうございます。  
ここからの議事の進行については、市長にお願いしたいと思います。  
佐藤市長，よろしくお願いいたします。

### 3 議事

佐藤市長

この総合教育会議の場を活用し、「人間力の向上」について意見交換をさせていただきたいと思います。

それでは、教育委員会における人間力に係る取組につきまして、事務局から説明をお願いしたいと思います。

#### **教育企画課長説明**

教育企画課長

・宮っこ未来ビジョン，宮っ子の誓い，心の教育プロジェクト，地域教育の推進について説明

佐藤市長

ありがとうございました。それでは、教育委員の皆さまから人間力にかかる考えや、取組、子どもの手本となるような人間力の高い大人の姿などについてそれぞれご意見をいただきたいと思います。その後、私からの意見等をお話しさせていただきたいと思います。

大場委員

多額の費用を投じて文化会館を改修していただきお礼申し上げます。市民がこれから感動と喜びを味わう場として末永く活用させていただくことになると思います。

私は人間力とは心に余裕があり、多様な考え方ができることであると考えております。人間力を高める上で欠かせないのが読書と芸術教育、なかでも質の良い物を鑑賞する芸術教育は、とても大切です。芸術教育によって心を鍛え、感性を磨くことができます。意思決定や物事を判断していく上で感性の果たす役割は非常に大きく、欠かせないものです。

このたび文化会館のハード面を整えて頂きましたので、次はソフト面を目を向ける必要があると考えます。ソフトの部分、それは企画力です。文化会館の企画は、毎年同じようなものの繰り返しになっているように感じます。今何が求められているのか、意義ある公演にするには何が必要か、それぞれの年代にあった質の高い公演を提供することによって子どもも若い方も、そして高齢の方まで常に足を運んで頂ける文化会館になると思います。

アメリカのハリス世論調査によると93%の人が子どもに豊かな教育を施す上で、芸術教育は欠かせないと答えています。また85%の人が芸術教育は子どもの学習意欲を高めコミュニケーション能力に役立つと答えています。立派になった文化会館ですので、広い視野とネットワークを持った人材を入れ、企画力で魅力ある文化会館になることを願っております。

伊藤委員

NHKでも取り上げられていましたが、幼児期の教育が子どもの非認知能力を伸ばすのに非常に重要だと言われています。幼児期の教育で特にどのような読書をどういう形とするのか、また食育が重要です。教育委員会でもそういうことの大切さに気づいていて、家庭でも読書活動をしてもらおうと図書館では1歳6カ月検診で読み聞かせをやっていきます。

私の家は裕福ではありませんでしたが、寝る前に父が私と姉に本を読んでもくれました。毎日ではありませんでしたが大変楽しみでした。父と母が

いて私たちがいて非常に濃密な空間、時間を共有し、子どもにとっても愛されていることが実感できる場でありました。今はそういうものがなくなってきて、父親は帰ってきたらすぐ寝てしまうとか父親の顔をみないこともあるかと思います。毎日でなくても子どもには1週間に1回でも父親と過ごせる時間があれば心の中に何か残るのではないのでしょうか。就学前でもこうした時間が大切だということで活動をしていきたい。教育というと保護者は小中学校へ任せるという意識で、学校の責任という風潮になっています。そこは違うのではないかと考えています。

来年から道徳教育が教科に入ってくるというのはよいことです。教える主体は先生ばかりではなく、むしろ保護者が主体になってやることだと思います。幼児教育で道徳の本を子どもと一緒に読むとかそういう活動を推進していくことが重要です。道徳の教科書を拝見したがスマホとかいじめの問題をしっかりと捉えています。幼児期の教育から就学に至るまで心の教育を家庭とともに作りあげていくことを頑張っていきたいと思っています。

山田委員

子どもは親の後ろ姿を見て育つと言います。昨年「子どものメセン」というモラル向上の啓発冊子を作成しました。現代社会では待ち時間が減ったことから我慢するところが弱くなっていると感じています。子どものメセンといったツールで子どもと大人と一緒に考えられるような機会を作っていきたいと思います。

また、10周年記念となる人づくりフォーラムでは、去年のものを踏まえて大人のモラル向上を図っていきたいと考えています。

大人も我慢することができなくなってきておりちょっとしたことで、きれるということが常態化している中で、きれるということがどういうことか大人が理解した上で子ども達と一緒に育てていく必要があると感じています。メディア等で情報が氾濫している中で自分達に必要な情報を探っていく力についても考えて行く必要があります。

清島委員

様々な体験をすることで、困難を乗り越える力を養っていけるのではないかと思います。

様々な体験というと幅が広いですが、子どもの時期に山の中を歩いたり、川で遊んだり自然と触れ合う時間をより多く作ることで、人間力が向上すると考えます。冒険活動センターの活動も行っているので十分であるという意見もあると思いますが、集団を少し個に分けると個人のスキルアップに繋がるのではないのでしょうか。フィンランドでは幼稚園の時期に、裏山に行って遊ぶのが日課になっている教育施設もあると聞きます。自然と親しむことによって自然から受ける恩恵を再確認したり、その時には分からないけれど、高校生、大学生になってから思い返すと理解が深まるということが多くなるのではないのでしょうか。

子どもだけで外で体験をさせるのが難しい現状もありますが、大場委員の言った心の余裕が出てくれば、子どもたちにもそういう経験を多くさせ

てあげられるのではないのでしょうか。ぜひ、冒険活動センターの活動にも個のプログラムに取り入れていただければと思います。

佐藤市長

各教育委員の皆様には的確に現状を押さえていただいていると思います。大場委員のおっしゃった心の余裕は新たな成長に繋がると思います。余裕がなければ自分の経験値だけからの判断になってしまいます。そのため本物の音楽、芸術、スポーツなどなるべく子ども達に本物に触れる機会を持ってほしいと意識しています。

伊藤委員の読書の必要性については本市では司書を全校に配置しています。それが学力の向上に繋がっていると思います。本物に会わなくても本で理解ができる。また、読書することで読解力が身につく、子どもの成績にもつながると先生たちもおっしゃっていました。また、学校だけでなく家庭でも読み聞かせとか読む力を育む環境を作ってほしいと思います。

山田委員からご指摘のあった大人のモラル低下の問題ですが、きれたからしょうがないではいけないと思います。「子どものメセン」はとても良いと思います。障がい者用の駐車場に車を停める大人の話がでていますが、そういう大人を見て育った子どもは自分が大人になったら同じように駐車するでしょう。

清島委員の色々な手段で様々な体験をするというのは自分の能力を伸ばすきっかけになると思います。子どものうちに恥をかくというのも大切です。大人になってから初めて恥をかくときれることにつながると思います。子どもたちに色々な経験を味わってほしい。そのために学校現場でも様々なメニューを用意しています。スポーツ、芸術、音楽、美術においても初めてを経験し、様々な体験をするとよいと思います。また、失敗することも大切です。それで人間力が高まると思います。

最後になりますが、学校、家庭の2つの柱に加えて教育委員会には企業のを意識して使っていただきたいです。地域学校園にもそういうことを意識して強化していくとよいと思います。簡単にはできないと思いますがやめてしまうとゼロからのスタートになってしまうので地道にやっていきたいと思います。

手塚市長から人間力向上について何かありますか

手塚副市長

市長から6次総合計画の取り組みの話がありましたが、総合計画の柱に人づくりを掲げようということでやってきました。数年の間に人口は右肩下がりとなります。一人ひとりが輝いて活動が増えていくことが宇都宮を支えていくことになると思いますので、計画の中で人づくりを大切にやっていきたいと考えています。

活躍のパターンはそれぞれの分野であると思いますが、福祉、教育、産業といった専門分野で色々なリーダーを作っていきたいと全庁的に動いています。皆さんのお話を聞いていて知識、経験だけでなく徳を持った人間、向上心をもった、まち全体を良くしようという心の根を大切にすることも必要だと感じました。今までの皆さんのノウハウを宇都宮のために発揮

していただきたいと思います。

吉田副市長

大場委員の意見と似ていますが多様性が大切であると思います。

色々な人がいる組織が一番強いと感じます。モノカルチャーは一見強そうですが色々な課題にぶつかると弱いと思います。多様なことを許容しあう社会が大切です。多様性を育てるには子どもや親も多様性を認め合うことが必要です。学校の先生でもすぐ怒る先生もいれば優しい先生もいる。学校の先生も多様でよいと思います。

佐藤市長

県立博物館で中世宇都宮氏の展示をしていますが、展示を見ると宇都宮氏は鎌倉幕府の家老、老中職等の要職を歴代務め、日本の中心のお家柄で頼りにされてきたのが分かります。色々な人材がいるで、宇都宮の過去の歴史上の偉人について子どもたちだけでなく、我々も知るべきだと思いますのでぜひ足を運んでいただきたい。

また、本市の中学生が水泳、陸上、サッカー、野球等で全国、世界大会などで活躍し、優勝しています。オリンピック、国体とあるので宇都宮としては嬉しいことです。厳しい部活で人間力を高めていると思います。芸術ではどうでしょうか。

大場委員

芸術も自分自身と向き合うため、厳しい世界であり自分との闘いです。スポーツのように数値で測れるようなものではありませんが、スポーツと同じでコツコツと積み上げたものを一回で発揮しなければなりません。

水越教育長

日々の練習もきついです。また、部活動は教育的に非常によいと思います。その子の資質を伸ばす。そして、人間力を向上することにも繋がります。

佐藤市長

オリンピック種目としてスリーバيسリーが注目されています。世界マスタースを続けていくと本市が注目されると思います。

スリーバيسリーがヨーロッパで人気がある理由は補欠を作らず、一人が控えてたえず交代して入るため控えずずっと見ているということがないので、親御さんたちも子どもに勧めがいがあり、子どもたちもやりがいがあると人気が出ています。

ヨーロッパをみているとスポーツも変わってきているように思います。誰でも参加できる自転車は人気があります。誰でもエントリーでき、みんなが参加できるというのはスポーツでも芸術でも魅力です。

どんなに社会が貧しくても、良い時代でも教育には力を入れて行くことが必要です。ただ、経済が悪くなってくると教育にお金や人をまわせなくなります。今心配なのは経済です。人口が減るということは経済が悪くなることに繋がります。手塚副市長が言ったように人口維持、働く場所の確保はしっかり6次総合計画でもきちんと意識してやっていきたいと思ます。

山田委員

宇都宮氏の展示にも言えますが、発信をする手法に努力が必要だと感じています。

伊藤委員

いいと思った人がいいと、どんどん言っていく必要があると思います。しつこいくらいに言っていってそれがムーブメントになるので、そういう物を作っていくことが大切です。

山田委員

メディアなど利用できるものはとことん利用していくことを視野に入れながら、仕掛け人を作っていく必要があると思います。

伊藤委員

メディアの人もそういう気持ちは持っていると思います。せっかく宇都宮にいますのでこの地域を良くしようという気持ちがあるので、それに呼応する形で私たちもやっていく必要がある。

#### 4 その他

佐藤市長

それでは最後に「その他」になりますが、教育委員会の皆様から何かございましたらお願いいたします。

大場委員

今の風潮として安ければいいだろう、という考え方があります。しかし、良い物に対してきちんと対価を支払う意識を持つ必要があります。それがないと文化は育ちません。私たちはそのような考え方を広めていかなくてはならないと思います。

伊藤委員の非認知能力の話では、子どもが字を読めるようになるかならないかの境目は非常に大きいという本を読みました。本来子どもは親の言葉を聞いて想像力を膨らませるそうです。一旦字が読めるようになると字からの情報のみになってしまい、その想像力がなくなってしまう。早く字が読めることが必ずしもよいことではないとありました。字が読めるようになる前の時期が大切です。子どもの読み聞かせの意義を大切に考えて頂ければと思います。

佐藤市長

それでは、時間となりましたので進行を事務局に戻します。

#### 4 閉会

水沼教育次長

市長、ありがとうございました。  
以上で、平成29年度第1回宇都宮市総合教育会議を閉会いたします。

ありがとうございました。